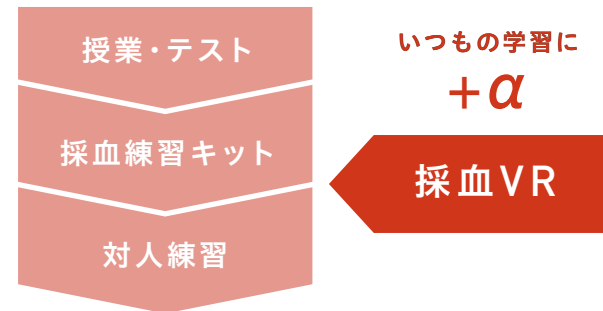


活用例 ―看護学校を例に



採血に慣れていない学生や、ブランクのある看護師にとって、対人練習は本番と同じくらい緊張するものです。対人練習で失敗してもフォローがなければ、採血に対する苦手意識が生まれてしまい、その結果、採血が必要な職場を諦めてしまうこともあります。

この教材を活用することで、苦手意識が芽生えても再び練習する機会を提供します。リアルな腕や反応によって適度な緊張感を保ちながらも、対人練習に比べて気軽に何度でも挑戦できるのが特徴です。さらに、失敗した理由は数値化された客観的な分析の結果として提供されるため、上達が早くなります。

解決したいお悩み例



病院

採血できる人材が
多くなく、
シフトが悩ましい…



看護学校

採血がある職場を
避けることで、選択肢が
限られてしまう…



新人看護師

練習で失敗したとき
苦手意識があるけど、
本当は克服したい…！



ブランクがある看護師

職場が変わって
久々に採血をするため
自信がない…

採血、もう怖くない。

医療教材シリーズ 採血VR



「本物」の人間で
「本番」の経験を



知識が「スキル」と
「自信」になる



なぜダメだった？を
即時分析



監修
竹尾 浩紀 先生

1996年 防衛医科大学卒業後、同大学病院研修医
1998年 自衛隊中央病院内科研修医
1999年 航空自衛隊奥尻基地医務室衛生小隊長
2000年 自衛隊中央病院内科専門研修及び
国立がんセンター細胞増殖因子研究部にて研究員
2003年 国際連合兵力引き離し監視軍(UNDOF) medical officer
2004年 自衛隊中央病院内科兼航空自衛隊目黒幹部学校
内科医官および医学博士課程
NBS経営学修士課程
2006年 航空自衛隊小松基地衛生隊長
2007年 厚生労働省健康局生活習慣病対策課
2008年 自衛隊中央病院内科医長
2011年 たけおクリニック開設
2013年 医療法人社団ダイアステップ設立

私は、長年診療のみならず看護教育にも携わってきましたが、常に付きまとう問題として、採血を苦手とする看護師さんが一定数いることが挙げられます。

また、産休後復帰等の際にも、大きな心理的負担となることがたびたびありました。

このたび、新しい技術であるフォトグラメトリを用いたVR採血練習システムが開発されました。

このシステムでは、従来の練習キットでは得られなかったリアルな表現だけでなく、採血の手法そのものを数値化し、客観的な評価判定を示すことができます。それは、今までのカンに頼った採血、先輩からの経

験だけの申し送り採血から脱却することを意味し、更により難しい症例への確かな道筋が示されるものです。

もちろん、このシステムは患者さんの苦痛や時間などを気にすることなく、何度でも満足できるまで繰り返し練習することが可能です。これは、看護師・検査技師さんが自信を持って採血に臨むためのとても大きな助けになります。

自分が監修させて頂いたことを誇りに思うとともに、今後の看護教育において、このシステムが大いに役立つことを心から期待しています。



採血VRサイト

実際の使用シーンや教材のコンセプトをわかりやすくご紹介しています。



お問い合わせはこちら

株式会社セカンド・サイド
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋 2-14-10-301
☎03-3419-3117 ✉medi@2ndside.co.jp

Medi.SIDE

リアルな体験を、何度でも。 だから、自信になる。

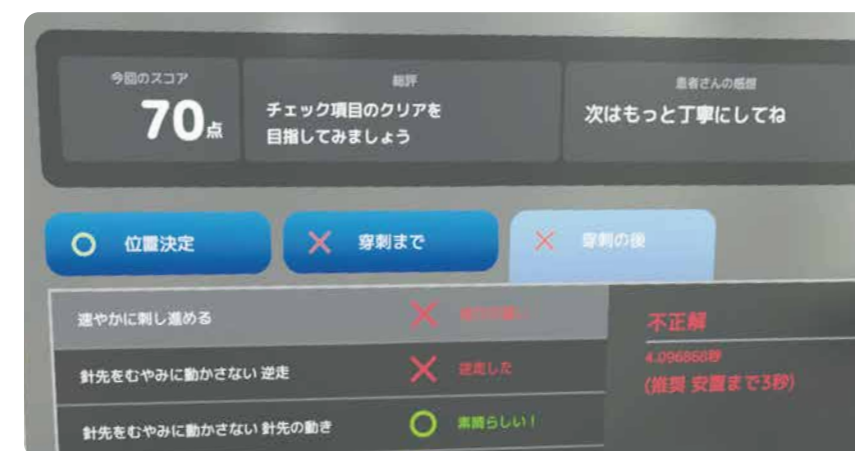
本教材には、3つのポイントがあります。
採血練習キットや対人での練習などの、既存の学習に+αすることで、より効果的な採血の学習をすることができます。
苦手意識や恐怖心を軽減させ、より自信を持って採血できるようにすることで、「採血できる人材」を現場に増やすことを目指しています。



「本物」の人間で 「本番」の経験を

腕のモデルはフォトグラメトリ(3Dスキャン技術)を利用して作成しました。個人差の多い人体を再現しているため、教科書通りではないリアルな練習が可能です。さまざまな本物の人間の腕をじっくり観察しながら、練習することができます。
また、誤った場所へ穿刺してしまった際には「痛い!」と言ったり、怒ったりすることもあります。これにより、患者さんの感情に向き合い、リアクションに対する耐性を養うことができます。もちろん、上手にできれば褒めてくれます👍

なぜダメだった?を即時分析



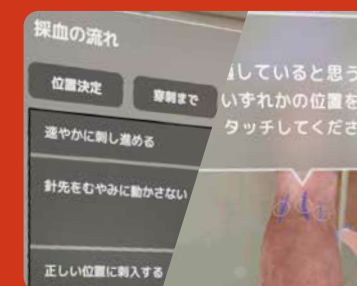
針が動いた距離やスピードは数値として表示され、その結果が即時に反映されます。これにより、なぜ失敗したのかが明確となり、問題点を客観的に特定できます。
勘に頼らず、自分で改善点を見つけて対策を講じることで、採血スキルを向上させ、知識を確実に身に付けることができます。



知識が「スキル」と 「自信」に変わる

教科書に書かれている「角度は10度くらい」「1cmほど進める」といった感覚を身に付けるのは、決して簡単なことではありません。本教材では、理想の針の位置・角度のお手本や、最適な血管の選び方をガイドしてくれるモードがあります。また、皮膚に針が刺さる状態がリアルタイムで断面図に反映されます。
「知識はあるけど実際にできるか不安…」を「こういうことだったんだ!」という納得と実感に変えます。勘に頼らず、理屈を理解してスキルと自信を身に付けることができます。

チュートリアル機能



一つ一つの動作を詳細に分析的に解説します。勘に流されがちな採血動作ですが、その一つ一つの意味を理解しながら進めることで、知識を明確に身に付けることができます。

ベテランのお手本動画



現実ではなかなかじっくり見ることができない穿刺の瞬間を、間近で観察できます。さまざまな角度や画角から穿刺の瞬間の微妙な針先の動きを観察したり、スロー再生したり、断面図と同時に表示させることができます。これにより、学習の深い理解を促進します。

さまざまな腕で練習可能。
だから、現場で慌てない。



腕の種類や機能は
随時追加予定!